

平成 25 年 4 月 1 日以降の HbA1c 国際標準化に伴うお願い
- 病院・検査機関の皆様へ -

平成 25 年 4 月 22 日
日本糖尿病学会
(公印省略)

関係各位

平素より日本糖尿病学会の活動にご高配をいただき、誠に有難うございます。

HbA1c 国際標準化につきましては、我が国以外で汎用されている National Glycohemoglobin Standardization Program (NGSP) 値と、我が国で用いられてきた Japan Diabetes Society (JDS) 値との差の問題を解決すべく、本学会の「糖尿病関連検査の標準化に関する検討委員会」を中心として、関係諸団体とも広く協議を行ってまいりました。

その結果、平成 22 年 7 月 1 日より JDS 値に 0.4%を加えて NGSP 値に相当する値とした「国際標準値」を主に著作・発表で使用開始させていただきました。さらに、その後の検査の標準化・最適化の進展や厚生労働省・日本医師会・保険者団体を初めとする関係諸団体との協議を踏まえて、「日常臨床及び特定健診・保健指導における HbA1c 国際標準化の基本方針・運用指針」を定めました。これに基づいて、本学会や日本糖尿病対策推進会議などの諸団体による様々な周知広報活動を先行させつつ、平成 24 年 4 月 1 日からは特定健診・保健指導では JDS 値のみ使用するものの日常臨床においては正式な NGSP 値表記の HbA1c を JDS 値併記のもとで使用開始し、著作物等も NGSP 値使用とさせていただきます。

平成 24 年 4 月 1 日以降の日常臨床における HbA1c(NGSP)使用につきましては、おかげさまで現在までのところ大きな混乱なく順調に進展しております。これもひとえに皆様方の多大なるご理解とご協力の賜物と心より感謝申し上げます。次第です。

上記のような HbA1c 国際標準化の進捗状況を踏まえ、厚生労働省・日本医師会・保険者団体等との協議を経て、平成 24 年 10 月 24 日に「平成 25 年度以降における HbA1c 国際標準化の運用計画」が策定されましたことは既に皆様もご存じのとおりです。本学会といたしましては、上記計画に示された平成 26 年度からの NGSP 値単独表記 (JDS 値併記なし) に向けて、平成 25 年度中の NGSP 値単独表記移行を周知広報活動を含めて着実に推進して参る所存ですが、併せて検査・診療の現場におられる皆様方の引き続きのご理解・ご協力が欠かせないものと考えております。

つきましては、以下に掲げる諸点につきましてご高配を賜りたく、ここにお願い申し上げる次第です。大変恐縮ではございますが、HbA1c 国際標準化への一層のお力添えのほどお願い申し上げます。

●病院・検査機関の皆様へのお願い

「平成 25 年度以降における HbA1c 国際標準化の運用計画」は、1) 平成 26 年度からの NGSP 値単独表記 (JDS 値併記なし)、2) 平成 25 年度中の NGSP 値単独表記推進、3) 平成 25 年度以降の特定健診・保健指導における NGSP 値単独使用、をその骨子としております。つきましては、以下の 3 点につき皆様方のご高配を賜りたく、どうぞよろしくお願いいたします。

(1) 平成 25 年 4 月 1 日以降、特定健診・保健指導及び日常臨床のいずれも NGSP 値表記の HbA1c を使用することとなっており、また平成 26 年度からは NGSP 値の単独表記 (JDS 値併記なし) に移行する予定となっております。つきましては、検査数値が NGSP 値未対応の場合には、関連部署や試薬・機器メーカーともお計らいの上で NGSP 値への対応をできる限り行っていただきますようお願い申し上げます。また、検査結果における NGSP 値単独表記 (JDS 値併記なし) への移行を平成 26 年 4 月 1 日までに実施していただきますようお願い申し上げます。

(2) 平成 25 年 4 月 1 日以降に実施される特定健診・保健指導の結果通知が NGSP 値のみとなりますので、特定健診受診者の方々には JDS 値より

0.4%高い値となる NGSP 値を正しく理解していただく必要があります。つきましては、本学会ホームページに関連するチラシ（特定健診受診者向け、A4）を掲載いたしましたので、過去の JDS 値との比較など受診者の方々へのご説明の際には是非ご利用いただきますようお願い申し上げます。

(<http://www.jds.or.jp/modules/important/index.php?page=article&storyid=41>)

- (3) 糖尿病患者の皆様への NGSP 値に関するご説明は、平成 24 年 4 月 1 日以降に個々の診察等で既に実施されているものと思いますが、今般平成 26 年 4 月 1 日以降は NGSP 値単独表記（JDS 値併記なし）の予定となりましたので、患者の皆様には平成 25 年度内に NGSP 値のみでの検査結果説明に十分慣れていただけますようご配慮のほどお願い申し上げます。



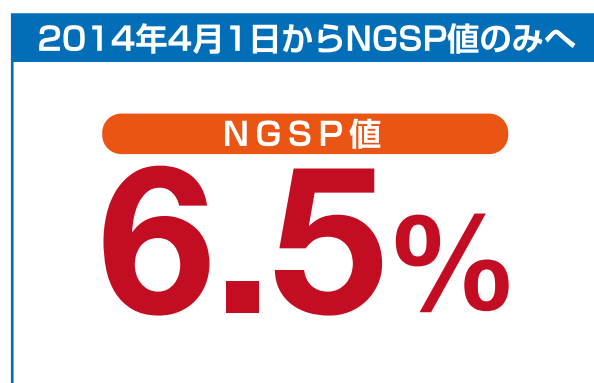
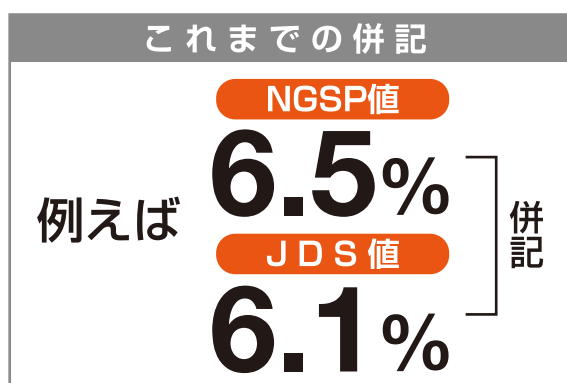
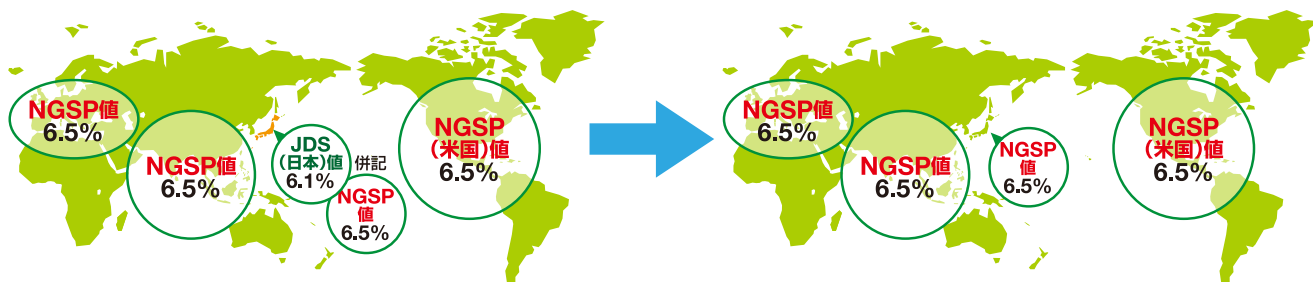
国際標準化に伴い、

ヘモグロビン・エイワンシー

HbA1cの表記統一を お願いいたします。

今までJDS値とNGSP値の併記だったHbA1cを
2014年4月1日までに
NGSP値のみの表記に統一してください。

HbA1cには国際的に広く使用されているHbA1c(NGSP)と、
日本でこれまで使用されてきたHbA1c(JDS)があります。
今まで併記してきましたが、
今後は日本でもHbA1c(NGSP)に統一することになりました。



新しいHbA1c(NGSP)値が6.5%以上の場合は、糖尿病が強く疑われます。

